

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており，著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き，無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について，著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二五（令和七）年度

東北学院高等学校

〈特別進学コース自己推薦〉

国語

二〇二五（令和七）年一月十五日（水）

九時～九時五十分（五〇分間）

注意事項

- 一．受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二．解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三．解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の二つの文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を一部改めたところがあります。)

【文章Ⅰ】

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(今井むつみ・秋田喜美『言語の本質―ことばはどう生まれ、進化したか』)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

（今井むつみ・秋田喜美『言語の本質―ことばはどう生まれ、進化したか』）

問一 ―― 部(1)「この仮説」とありますが、これはどのような仮説ですか。解答欄に合うように答えなさい。

問二 ―― 部(2)「おもしろい可能性」とありますが、どういう点におもしろさを感じているのですか。次の選択肢の中から適当なものを二つ選び記号で答えなさい。

ア 言葉を知らない赤ちゃんは、音声が何かを指し示すものであると知っている点。

イ 言葉を知らない赤ちゃんは、大人と同じように言葉を理解しているという点。

ウ 言葉を知らない赤ちゃんは、言葉の音と意味の間に関係がないと知っている点。

エ 言葉を知らない赤ちゃんは、オノマトペを言語として認識している点。

オ 言葉を知らない赤ちゃんは、音の感覚に合うモノが単語を指し示す対象か識別している点。

問三 ―― 部(3)「大人は赤ちゃんにオノマトペを多用する」とありますが、筆者は多用する理由をどのように考えているのですか。本文中の言葉を用いて七十字以内で答えなさい。

問四 ———部(4)について「とても貴重である」とありますが、それはなぜですか。その理由を端的に説明した一文を本文中から探し、最初の五字を答えなさい。

問五 ———部(5)『アナログからデジタル』に変化する」とはどういうことですか。六十字程度で説明しなさい。

問六 ———部(6)「経済性」「離散性」について、手話の単語における1「経済性」、2「離散性」についての説明として適切な部分を、本文中から1を三十四字、2を二十字で抜き出し、1については最初の五字を、2については最初の六字を答えなさい。

問七 二つの文章を読んだ生徒たちにより「言語の習得」について理解を深めるための話し合いが行われた。本文の趣旨に合致する発言を二つ選んで記号で答えよ。

ア 生徒A 【文章Ⅱ】の内容から考えると、【文章Ⅰ】の赤ちゃんが音と単語を結びつけている状況は、経済性が高いということになるね。
イ 生徒B 【文章Ⅰ】の赤ちゃんが音と単語を結びつけているということは、【文章Ⅱ】の離散性を獲得していると言うこともできると
思うよ。

ウ 生徒C 【文章Ⅱ】のニカラグア手話の第一世代が行っていた動作をアナログ的に表現するのは【文章Ⅰ】のオノマトペと意味の関係とよく似ているね。

エ 生徒D 【文章Ⅱ】のニカラグア手話の進化の過程から考えると、【文章Ⅰ】の赤ちゃんの言語の発達は、要素の分割、再結合が含まれると考えることもできそうだね。

オ 生徒E 【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】から考えると、効率的に表現できる言語を獲得するために要素の分割、再結合を行わなければならないんだね。

二

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を一部改めたところがあります。)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

問

A

ア	イ	ウ	エ	オ
すっきりした	いらいらした	ほっとした	はらはらした	のんびりした

B

ア 無意識のうちに
イ 非常に短い時間で
ウ 予想通りに
エ だしぬけに
オ 総じて

C

ア とらえどころがない状態
イ 気がそれで集中できない状態
ウ 時間がかかりイライラした状態
エ どうしたらいいかわからない状態
オ 手持ち無沙汰な状態

問二 ——— 部(1)「その男の人」とはどのような人物ですか。本文中から三十二字で探し、最初と最後の三字を答えなさい。

問三 ——— 部(2)「千春には不十分だった」とはどういうことですか。そのことを説明した次の文の空欄に当てはまる語句を答えなさい。

千春が知リたかったことは
① 本文中の語句を用いて十字以内 であるのに、
② 本文中の語句を用いて七字以内 は千春を満足
させるものではなかったということ。

問四 ——— 部(3)のように千春が感じた理由はなんですか。その説明として適切なものを次の中から選び記号で答えなさい。

ア 本来、本が見つかってよかったと表現すべきなのに、女の人が忘れてよかったといい間違えたことを千春は変だと思ったから。
イ お店に本を置き忘れるというミスをごまかすために、忘れてよかったと強がる女の人の態度が千春には不自然に見えたから。
ウ 女の人がもう一度店を訪れる口実を作るために、わざと本を忘れていったのではないかと千春が推察したから。
エ 普通であれば本を忘れることは良いことではないが、女の人が本を忘れてよかったと表現したことに千春は違和感を覚えたから。
オ 女の人のお店であれば本を忘れても大丈夫だと信頼しているような表現に、周囲を信頼していない千春は疑問を感じたから。

問五 ——— 部(4)「緊張で全身に血が巡るような感覚を千春は覚えた」について次の問いに答えよ。

1 この部分で使われている表現技法として正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 対句 イ 比喩 ウ 体言止め エ 反復 オ 省略

2 この部分は千春のどのような状態を表していますか。二十五字程度で答えなさい。

問六 本文から読み取れる千春の変化の説明として適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分のすることに意味はなく、周囲と積極的に関わろうとしなかったが、客に話しかけようと変わった。
- イ 自分が何を考えているかもはっきりとわからなかったが、話しかけたいという気持ちがあることを知った。
- ウ 自分の気になることばかり考えてしまいうまく人間関係を築けなかったが、それを気にしなくなった。
- エ 自分の周囲に気を使いながらどうすればよいかわからず立ち止まっていたが、周囲への気遣いをやめた。
- オ 勝手に本を持ち帰るといふ大胆な行動をとっていたが、周囲に合わせていこうという方向に変わった。

三

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。（設問の都合上、本文を一部改めたところがあります。）

著作物保護のため掲載を控えます

（安楽庵策伝『醒睡笑』）

問一 ―― 部(1)「長棹を持ち、庭をあなたこなたと振り回る」とありますが、小僧がこのような行動をとった理由を現代語で簡潔に説明しなさい。

問二 ―― 部(2)「落ちぬ」を現代語に訳しなさい。

問三 ―― 部(3)「鈍なる奴」とは、ここでは誰のことを指しますか。本文から書き抜いて答えなさい。

問四 この文章の面白さを説明した文章として正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 小僧の行為を称賛した坊主が、小僧の成果を横取りしようとして失敗した、という点。
- イ 小僧の行為を称賛した坊主が、小僧の真似をしてさらに成果を上げた、という点。
- ウ 小僧の行為を非難した坊主が、小僧を思い正しいことを教えた、という点。
- エ 小僧の行為を非難した坊主が、小僧に対して的外れな助言をした、という点。

四

①～⑤の——部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の——部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- | | | | |
|---|-----------------------|---|---------------------------|
| ① | 建築のイシヨウについて打ち合わせをする。 | ⑥ | 山門をくぐると広々とした境内に出る。 |
| ② | 携帯電話のデンチを充電する。 | ⑦ | 契約に際しては約款によく目を通さなければいけない。 |
| ③ | ザッコクを混ぜて米を炊く。 | ⑧ | 料理からはおいしそうな肉汁が滴っていた。 |
| ④ | 明日、議長をツトめることになった。 | ⑨ | 観光客の地元での喫食率を調査する。 |
| ⑤ | 夏目漱石にコクジした作風の小説だと感じた。 | ⑩ | 野菜の促成栽培を始めた。 |

